

(コラム) 『涼しい衣服』

厚生労働省の調査によると、製造業は建設業に次いで熱中症が多い業種の様です。そんな製造業の工場内での暑さ対策の有効な手段として、最近注目されているものに“空調服”があります。

空調服とは、小型ファンが付いた作業服のことです。ファンにより服の中に外気を取り入れ、身体の表面に大量の風を流し、汗を気化させる仕組みになっています。人が汗の気化熱で体温を調節する現象を“生理クーラー理論”

といいます。汗を発散させて身体が涼しくなるようにしたのが“空調服”なのです。暑さによる集中力の低下から生じるミスが減らためにも、空調服を着用して作業をすることは有効です。また、涼しいだけでなく無駄な汗をかいて体力が消耗することを抑える効果もあります。よいものを造るためには、よりよい作業環境が望まれます。



※このコラムも今年の7月に発行予定であった社内報に掲載するため準備していたものです。発行予定の時期が7月末という暑い頃ということで、このような内容のコラムを作成いたしました。次号の発行時期である10月末では、季節感が合わないということで“ボツ”としました。せっかく作成したので、こちらに発表の機会を求めて掲載します。(S・T)